

## 今後の保育需要への対応について

### 1 JR島本駅西地区集合住宅内施設の用途変更

変更後	変更前
学童保育施設	学童保育施設
小規模保育事業所	地域子育て支援センター

- 社会情勢の変化や幼児教育・保育の無償化等の様々な要因が重なり、本町の保育需要は島本町保育基盤整備加速化方針（以下「加速化方針」という。）策定時の想定を大きく上回っている。
- 加速化方針策定時に想定されていなかった複数の大型集合住宅の建設が新たに進められており、今後、就学前児童人口の増加が見込まれる。
- 加速化方針策定時には、JR島本駅西地区開発想定を含んだ、令和10年度の最大保育需要は1,070人と想定していたことから、方針策定時には、認可定員644人を1,020人まで拡大することとしており、実態として、現在、1,043人まで拡大している。
- 令和6年11月の入所児童数は、1,068人であり、認可定員を超えている。
- 弾力的運用を行うなど、事業者との連携の下、現有施設を最大限活用するよう調整しているが、受け入れ可能枠を超える利用申請がなされており、令和6年11月には、令和4年3月以来の待機児童が発生することとなった。

以上のような状況を踏まえ、JR島本駅西地区集合住宅内施設において実施を予定していた地域子育て支援センターを小規模保育事業所に変更するもの。

#### 【参考：保育需要率】

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
1~5歳児	50.6%	50.0%	53.2%	59.1%	64.6%	67.5%

- ※ 各年度当初の保育所等申込数（入所者数+待機数+保留数）/就学前人口  
 ※ 0歳児は年度当初の保育需要率が低い傾向にあるためこれを除外して記載

### 2 第一幼稚園の拡充

利用者が減少している第一幼稚園について、次のとおり運営内容の拡充を検討する。

- 2年保育を3年保育に変更する。これに伴って、認可定員及び利用定員を207人から105人（3歳児35人、4歳児35人、5歳児35人）に変更することを検討する。
- 給食を実施する。第二保育所から搬入する親子方式による実施を検討する。
- 預かり保育の実施時間を拡大し、町立保育所と同様の開園時間（7時30分～19時）に変更することを検討する。

#### 【参考：第一幼稚園入園児数】

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
計	156人	115人	84人	56人	36人	34人

※ 各年度当初の入園児数

#### 【参考：拡充後の教室使用例】

教室	第1	第2	第3	第4	第5	第6
用途	3歳児 クラス①	3歳児 クラス②	4歳児 クラス	5歳児 クラス	預かり 保育室	給食 配膳室
園児数	17人	18人	35人	35人	—	—